SETO PHILHARMONIC ORCHESTRA THE 28th REGULAR CONCERT

瀬戸フィルハーモニー交響楽団

第28回定期演奏会

火の鳥

バレエ組曲［1919年版］

ストラヴィンスキー

The Firebird Suite 1919 Version by I.Stravinsky

2017［金・祝］8.11

14:00 開演［13:30 開場］
サンポートホール高松 大ホール
13:30～ ウェルカムロビーコンサート

ユーフォニアム
佐藤采香
Ayaka Sato

交響曲第40番 ト短調 K.550：W.A.モーツァルト
Symphony No.40 in G minor, K.550 by.W.A.Mozart

指揮者
ワシリー・ワリトフ
Vasily Valitov

＼西日本初演／

ユーフォニアム協奏曲
ユッカ・リンコラ
Euphonium Concerto by Jukka Linkola

チケット（全席自由）	前売	当日
一般	3,500円	3,800円
学生（高校生以下）	1,500円	1,800円

※瀬戸フィル会員様は2枚まで2割引です。未就学児の入場はご遠慮ください。

オフィシャル・スポンサー 私たちは年間を通して瀬戸フィルの活動を応援しています

アイル・パートナーズ株式会社	あなぶき興産	株式会社アムロン	NTTドコモ	香川銀行
香川証券株式会社	鎌田商事株式会社	鎌田醤油株式会社	鎌長製菓株式会社	観音寺信用金庫
香西内科医院	株式会社合田工務店	社会福祉法人香東園	社会福祉法人サマリヤ	四国石油株式会社
四国旅客鉄道株式会社	小豆島ヘルシーランド株式会社	高松キワニスクラブ	株式会社高松三越	帝國製薬株式会社
凸版印刷株式会社	日ブラ株式会社	日本アジアグループ株式会社	株式会社ハマダフードシステム	ヒビキミュージック
百十四銀行	公益財団法人松平公益会	株式会社ムレコミュニケーションズ	勇心酒造株式会社	リアル・ピット株式会社

前売券発売

［高松］＝サンポートホール1階プレイガイド、県庁生協、レクザムホール（香川県県民ホール）、
ゆめタウン高松1F中央サービスカウンター
［丸亀］＝ミヨシヤ楽器店　［高瀬］＝シャープ&フラット　［観音寺］＝ミュージックセンターオオサカヤ

ローソン・ミニストップ店内
「Loppi」にて（Lコード 61716）

お問い合わせ | 公益社団法人 瀬戸フィルハーモニー交響楽団
〒760-0019 高松市サンポート2-1 サンポートホール高松気付　TEL 087-822-5540
FAX 087-822-5590　E-mail info@setophil.or.jp　http://www.setophil.or.jp/

主催｜公益社団法人 瀬戸フィルハーモニー交響楽団
助成｜高松市文化芸術活動助成事業、芸術文化振興基金助成事業
後援｜香川県、高松市、朝日新聞高松総局、FM香川、NHK高松放送局、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、山陽新聞社、RSK山陽放送、四国新聞社、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局

SETO PHILHARMONIC ORCHESTRA THE 28th REGULAR CONCERT

瀬戸フィルハーモニー交響楽団 第28回定期演奏会

交響曲第40番
ト短調 K.550

W.A.モーツァルト 作曲

Symphony No.40 in G minor, K.550 by.W.A.Mozart

モーツァルトの晩年に書かれた39～41番の最後の3つの交響曲は，通称「3大交響曲」と呼ばれています。それぞれに魅力がありますが，40番はその中でも特に人気のある曲です。モーツァルトの交響曲のうち短調のものはこの作品を含めてわずか2曲しかなく、その両方がト短調で書かれています。晩年のモーツァルトはオペラ「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」の成功により、作曲家としての活動がピークにあった時期だったのですが経済的には大変苦しい状況にあり、また身内の不幸なども続いていました。モーツァルトはこの困窮からの抜け出すために演奏会を計画し、そのため、わずか2ヶ月間という驚くべき短期間で、性格の違う3つの交響曲を一気に書き上げました。モーツァルト晩年の円熟した傑作をお楽しみください。

ユーフォニアム協奏曲

ユッカ・リンコラ 作曲

Euphonium Concerto by Jukka Linkola

リンコラは、フィンランドで1955年に生まれました。ジャズピアニストとしても活躍しつつ、作曲家として多くの作品を手掛けています。ユーフォニアム協奏曲は1995年に作曲され、ユーフォニアムにとって重要なレパートリーになっていますが、オーケストラで演奏されるのは大変めずらしく、日本では今回で2回目です。

『私の演奏させて頂くJ.リンコラのユーフォニアム協奏曲は、現在ユーフォニアムのために書かれている作品の中で最も難しいとされる作品の一つです。この作品を演奏することは、私の音楽人生をかけた大きな挑戦です。まだあまり名の知れていないユーフォニアムの可能性を存分に感じて頂ける素晴らしい作品を披露できることに非常に喜びを感じています。そして、地元香川が誇る瀬戸フィルハーモニー交響楽団の皆様と共演できることに感謝します。』

佐藤采香

バレエ組曲「火の鳥」
[1919年版]

ストラヴィンスキー 作曲

The Firebird Suite 1919 Version by I.Stravinsky

「火の鳥」はストラヴィンスキーが作曲した三大バレエのひとつ。古いロシアの民話を基にした二部構成のバレエで、ディアギレフ率いるロシア・バレエ団のために書かれました。当時のストラヴィンスキーは、まだ師匠であるリムスキー＝コルサコフの作風が色濃く反映しており、「火の鳥」はストラヴィンスキーにとって後期ロマン派から近代音楽への過渡期に作られました。作品の評価も高く、パリ・オペラ座の初演では大成功を治めています。

今回演奏する組曲（1919年版）は、作曲家自身がオリジナルのバレエ音楽をコンサート用に標準的な2管編成のオーケストラで演奏できる版にまとめ直したもので、全体は7つの部分から構成されています。

1. 序奏　2. 火の鳥とその踊り　3. 火の鳥のヴァリエーション　4. 王女たちの踊り　5. カッチェイ王の魔の踊り　6. こもり歌　7. 終曲

指揮者
ワシリー・ワリトフ

[Conductor] Vasily Valitov

チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院オーボエ科と、オペラ・シンフォニーオーケストラ指揮科を卒業。ファト・マンスロフ（ロシア功労芸術家）やジェームズ・ジャッド（英国）などの著名な指揮者の元で研鑽を積む。2008年から2010年から国立アストラハン市オペラ・バレエ劇場の首席指揮者となる。同時に2001年よりロシア・ユース交響楽団の音楽監督兼首席指揮者を務める。2004年から今日に至るまで、文化社会プロジェクト『青少年・心の音楽』の音楽監督をつとめ、このプロジェクトの枠の中で300以上の公演が、モスクワ音楽院大ホール、チャイコフスキーホール、国際ドムー・ムジキ、クレムリン内、またはロシア正教会の総本山である救世主聖堂内のホールで毎年開催されている。海外でも高評を博し、フランスのボルドー交響楽団、ボドリャスク市オペラ・交響楽団を2007年に、そして2012年にはマドリード交響楽団を指揮。また、フランスではロシア・ユース交響楽団が2006年、2008年、2012年に公演を行い大成功を収め、音楽祭でグランプリを獲得。CDも2枚リリースされている。2008年からはロシア交響楽団でも指揮棒を降り、常任招聘指揮者となり、2010年からモスクワ市にあるロシアの代表的なオペラ劇場のひとつであるニュー・オペラ劇場の常任指揮者となった。2015年からマーラー交響楽団の客演指揮者を務める。モスクワ及び全ロシアの総主教アレクシーII世・モスクワ市長賞を受賞。文化社会プロジェクト『青少年・心の音楽』の青少年教育・道徳への貢献を評価ロシア連邦文化大臣ならびにモスクワ市からの感謝状を贈られる。

2016年よりF. マンスーロフ、Y. シモノフ、M. ゴーレンシュテイン、そしてV. スピワコフも指揮してきたCIS諸国ユース交響楽団の音楽監督ならびに主任指揮者に就任。ワシリー・ワリトフの指揮のもとCIS諸国ユース交響楽団は2016年にCDを2枚リリースし、モスクワ及びCIS諸国でコンサートを行う。

2016年よりオーストリアとロシアとの共同プロジェクト『アカデミー・ウィーン＝モスクワ』の音楽監督となる。オーストリア政府等後援の元、ブレゲンツ市（オーストリア）にオーストリア・ロシア夏季音楽学校を設立、音楽監督に就任。

ユーフォニアム
佐藤 采香

[euphonium] Ayaka Sato

1992年生まれ、香川県高松市出身。高松市立香東中学校、高松第一高等学校音楽科を経て、東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。卒業時にアカンサス音楽賞及び同声会新人賞を受賞。現在、同大学院音楽研究科修士課程3年在学中。これまでにユーフォニアムを船橋康志、村山修一、斎藤充、露木薫の各氏に師事。

2014年第9回チェジュ国際金管打楽器コンペティション（韓国）第2位、2016年ITECコンペティション（アメリカ）第2位、2015年第32回日本管打楽器コンクール第1位及び文部科学大臣賞、東京都知事賞、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団特別賞受賞をはじめ、国内外のコンクールで多数優勝・入賞を重ねている。

またソリストとして、これまでに東京藝大ウィンドオーケストラ、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共演。

その他、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」への出演や雑誌「バンドジャーナル」に取り上げられるなどメディア出演も多く、ユーフォニアム界のホープとして注目を集めている。

8月8日［水］

聴講料 500円

佐藤采香ユーフォニアム公開クリニック
対象者：中学生以上

午前の部 10:00～12:00［基礎コース］／午後の部 13:00～15:00［専門コース］

受講料：5,000円（1枠）　募集枠：6枠（午前 3枠／午後 3枠）

グループ受講可（3名まで）　募集期間：5月8日［月］～7月28日［金］（先着順）

佐藤さんと一緒にみんなで演奏に参加しよう♪
15:30～16:30

受講生はもちろん聴講している方も、佐藤さんと一緒にクリニックを生かして演奏に参加しませんか。

※楽器は持参してください（ユーフォニアムに限る）。

お申込みは、瀬戸フィル事務局 TEL087-822-5540／http://www.setophil.or.jp

オーケストラ **瀬戸フィルハーモニー交響楽団**

[Orchestra] Seto Philharmonic Orchestra

四国初のプロオーケストラとして定期演奏会をはじめ自治体、企業などへのアンサンブルデリバリーや県内外の文化団体との共演など多彩な演奏活動を展開している。特に、小・中学校を訪問しての音楽教室では音楽の楽しさを体感できる企画を盛り込み、音楽人口の拡大に取り組んでいる。

地域の音楽文化の活性化を目的に、NPO法人として2001年（平成13）11月に設立。2009年（平成21）4月一般社団法人。2010年（平成22）1月公益社団法人に移行。2014年（平成26）10月香川県文化芸術選奨受賞。2016年（平成28）6月（公社）日本オーケストラ連盟に準会員として加盟。

正会員

瀬戸フィルの趣旨に賛同し、活動を推進して下さる個人
瀬戸フィル総会における議決権を有します。

- 年会費10,000円
- 瀬戸フィル主催の定期演奏会に年1回ご招待致します。
- 瀬戸フィル主催演奏会のチケットを2枚まで割引致します。
- 特別演奏会などのチケットを優先予約致します。
- 瀬戸フィルの演奏料を優待価格に致します。
- 瀬戸フィルの各種企画にご案内致します。
- 機関紙「瀬戸フィルNEWS」を年2回お届け致します。
- 演奏会情報誌「Concert Guide」をお届け致します。

募集

瀬戸フィルメイト会員（賛助会員）

- 年会費2,000円
- 瀬戸フィル主催演奏会のチケットを2枚まで割引致します。
- 特別演奏会などのチケットを優先予約致します。
- 瀬戸フィルの各種企画にご案内致します。
- 機関紙「瀬戸フィルNEWS」を年2回お届け致します。
- 演奏会情報誌「Concert Guide」をお届け致します。

お問い合わせ　公益社団法人 瀬戸フィルハーモニー交響楽団 事務局　〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1 サンポートホール高松 気付
TEL 087-822-5540　FAX 087-822-5590　E-mail info@setophil.or.jp　URL http://www.setophil.or.jp/